

【抜粋版】実施状況報告書 作成用

独立行政法人日本学術振興会

科研費電子申請システム

研究者向け操作手引

(学術研究助成基金助成金)

(交付内定時・決定後用)

※ 一定時間、ボタン操作をせずにおくと、セッションタイムアウトしてしまい、入力した情報が消えてしまう場合があります。本システムでは、60分以上のタイムアウト時間を設定していますが、ご利用環境により、更に短い時間でタイムアウトとなる場合があります。
随時 [一時保存] ボタンをクリックして情報を保存してください。

第 5.0 版

1. はじめに

独立行政法人日本学術振興会科研費電子申請システム(以下「電子申請システム」という。)は、申請者、申請者の所属研究機関担当者(以下「所属研究機関担当者」という。)と日本学術振興会業務担当者との間で行われている交付申請手続き等を、インターネットを利用してサポートするシステムです。

1.1. システム動作環境

動作確認済みの OS 及び Web ブラウザを示します。

OS	Chrome 96	Firefox 94	Safari 15.1	Microsoft Edge96
Windows 10	○	○	—	○
Windows 11	○	○	—	○
Mac OS X(11.0)	—	—	○	—
Mac OS X(12.0)	○	—	○	—

その他の必要なソフトウェア、ネットワーク環境を示します。

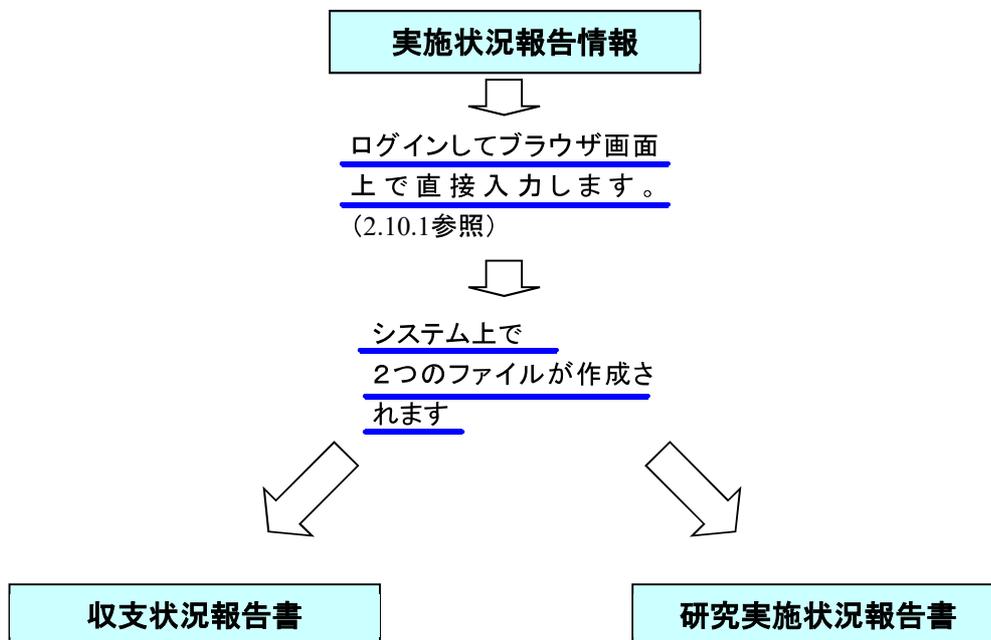
ソフトウェア	<ul style="list-style-type: none">・ Microsoft Word 2007 以降 (推奨) 研究成果報告書に添付する研究成果報告内容ファイルを編集する際に必要になります。 MS-Word97-2003 文書 (doc) 及び MS-Word2007 より採用された MS-Word 文書(docx)形式のファイルが添付可能です。・ Adobe Acrobat Reader DC (旧名称 : Adobe Reader) 電子申請システムで入力した申請情報はシステム上で PDF ファイルに変換されるため、変換後の申請情報を確認するために必要になります。なお、究成果報告書に添付する研究成果報告内容ファイル作成時に PDF を使用する場合は Adobe 社のソフトウェアでの作成 (PDF バージョン 1.4) を推奨します。
ネットワーク環境	WWW サーバと HTTP、HTTPS (SSL 通信) によりインターネットを介して接続が可能なこと。

ご注意

- ※ 動作確認環境のすべてのパソコンについて、動作を保証するものではありません。
- ※ 環境依存文字を電子申請システムで入力した場合、文字化けが発生するなど、文字を正しく扱えない場合があります。また、一部の文字については、表示される字形が異なる場合があります。詳細については「2.4.1 交付申請情報の入力」のご注意を参照してください。

1.5. 実施状況報告書の構成イメージ

電子申請システム（交付申請）では、学術研究助成基金助成金の初年度終了後～最終年度前年度終了後に作成する実施状況報告情報は収支状況報告書・研究実施状況報告書の2つのデータから構成されます。



収支状況報告書・研究実施状況報告書はPDFファイルとしてダウンロードし確認することができます。(2.11.2参照)

確認が完了すれば、この収支状況報告書・研究実施状況報告書が所属研究機関の承認（確認）を経て日本学術振興会に提出（送信）されます。

2. 操作方法

以下の画面はイメージです。実際の画面とは異なる場合があります。

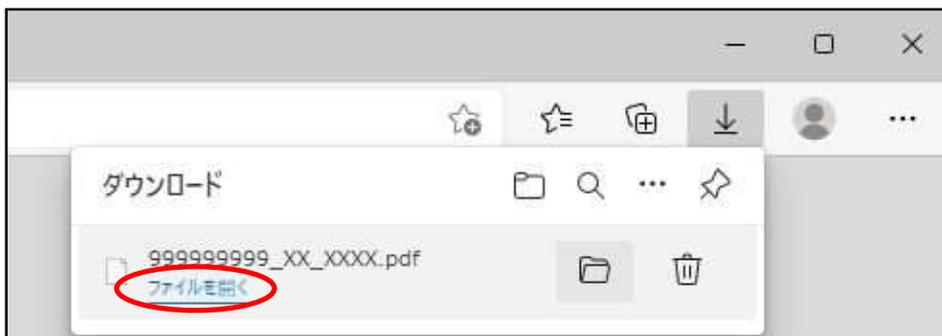
2.1. ファイルのダウンロード手順

はじめにファイルをダウンロードする共通的な手順を説明します。画面には、以下のようにダウンロードボタンを配置しているものがあります。



(以降の画面は Windows 版 Microsoft Edge を利用している場合のサンプルです。
ご利用環境により、表示される画面は異なります。)

- ① ダウンロードボタンをクリックすると、「ダウンロード」を表示します。
ファイル名の下にある [ファイルを開く] をクリックして、ダウンロードした書類を確認します。



【注意】

- ※ ダウンロードしたファイルの内容を確認するには、Adobe Reader が必要です。
- ※ ファイル名の横にあるフォルダアイコンをクリックすると、ファイルを保存したフォルダが表示されます。

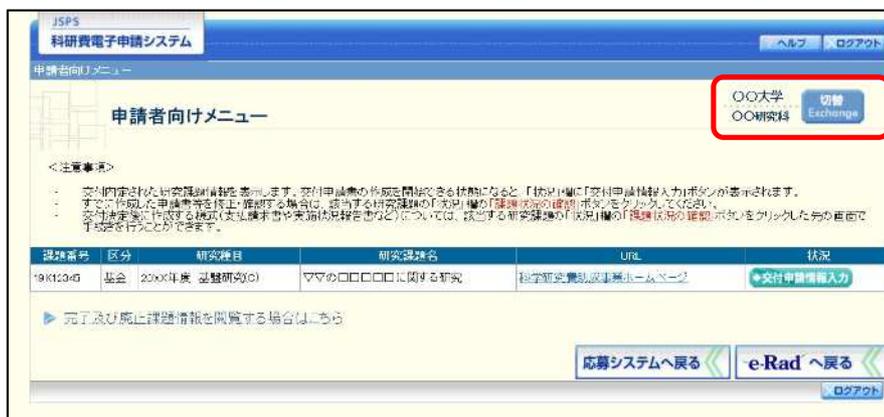


2.2. ログイン情報の変更手順

ログイン時に選択した所属研究機関・部局を変更する共通的な手順を説明します。

「申請者向けメニュー」画面の右上には、以下のようにログイン時に選択した所属研究機関・部局の名称が表示されています。

ログイン者（研究者）が、【複数の所属研究機関で科研費応募資格を有する】または【科研費応募資格を有する所属研究機関内で複数の部局に所属する】場合、[切替]が表示されます。



- ① 交付申請書や必要に応じて提出する書類等の提出先が、画面に表示された所属研究機関・部局とは異なる場合、[切替]をクリックします。



- ② 「所属研究機関・部局選択」画面が表示されます。各書類を提出する所属研究機関・部局を選択し、[次へ進む] をクリックします。



- ③ 「申請者向けメニュー」画面が表示されます。右上に表示される所属研究機関・部局の名称が、「所属研究機関・部局選択」画面で選択した所属に変わっていることを確認してください。所属研究機関・部局に誤りがなければ、続けて各書類の作成を実施してください。



2.3. ログイン

電子申請システムを利用して交付申請するためには、まず府省共通研究開発管理システム(以下「e-Rad」という。)のID・パスワードを取得する必要があります。所属している研究機関の事務局等に連絡し、e-RadのID・パスワードを取得してください。

ご注意

- ※ 交付申請者が本システムの画面上でID・パスワードを取得することはできません。
- ※ 既にID・パスワードを取得している場合は、再度取得する必要はありません。

2.3.1 科研費電子申請システム(交付申請手続き)へログイン

- ① Webブラウザを起動し、日本学術振興会の電子申請のご案内サイト(<https://www-shinsei.jspis.go.jp/>)を表示し、「科学研究費助成事業」をクリックします。



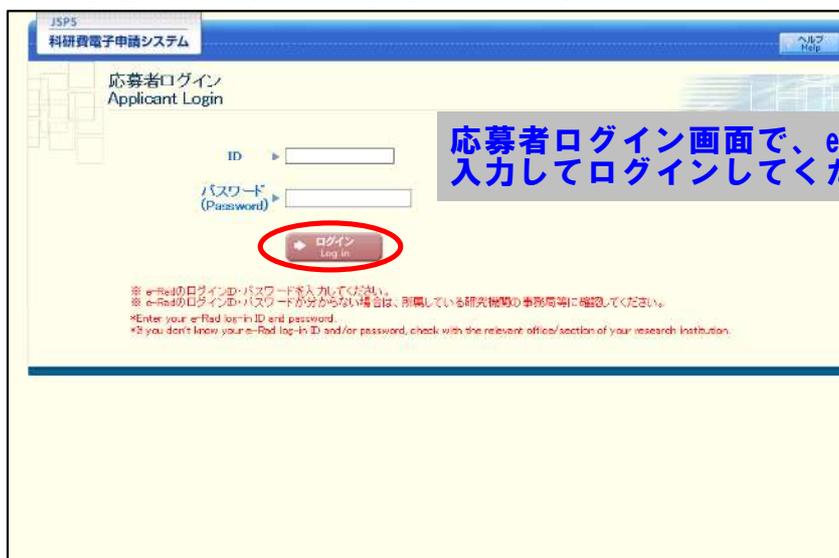
- ② 「科学研究費助成事業のトップページ」画面が表示されます。[研究者ログイン] をクリックします。



ご注意

※ 掲載している画面は、例示です。随時変更されます。

- ③ 科研費電子申請システムの「応募者ログイン」画面が表示されます。e-Radの「ID」、「パスワード」を入力し、[ログイン] をクリックします。



- ④ 「応募者向けメニュー」画面が表示されます。「応募者向けメニュー」画面で、[交付内定時の手続を行う]、[交付決定後の手続を行う] をクリックします。



- ⑤ 「接続しています」画面が表示されますが自動的に次の画面に遷移します。



ご注意

- ※ 1分経過しても画面が切り替わらない場合は、コールセンター(連絡先:0120-556-739)へお問い合わせください。
- ※ コールセンターの受付時間は下記となります。
受付時間 9:30~17:30
(土曜日、日曜日、国民の祝日及び年末年始(12月29日~1月3日)を除く)

- ⑥ 交付申請書または支払請求書を作成可能な場合、「研究活動の公正性の確保及び適正な研究費の使用について確認・誓約すべき事項」画面が表示されます。

JSPS
科研費電子申請システム

ヘルプ ログアウト

研究活動の公正性の確保及び適正な研究費の使用について確認・誓約すべき事項

Points for Verification and Pledge Regarding the Maintenance of Propriety in Research Activities and Appropriate Use of Research Grants

【Japanese】
科研費で研究活動を行うに当たっては、科研費が国民の貴重な税金で賄われていることを十分認識し、科研費を適正かつ効率的に使用するとともに、研究において不正行為を行わないことが求められています。
ついでに、下記の内容を十分に確認し、遵守する場合には確認した事項にチェックを入れてください。全ての事項にチェックを入れなければ、交付申請書・交付請求書(支払請求書)の作成画面に進むことができません。
また、本内容は日本学術振興会ホームページ(URI: http://www.jsps.go.jp/grants/aid/15_hand/index.html)にも掲載されています。研究代表者の責務として、本内容を研究分担者等にも必ず周知し、研究活動の公正性の確保や適正な研究費の使用について理解してもらうよう努めてください。

【English】
When conducting research activities using KAKENHI, you (researchers) must clearly understand that your KAKENHI are funded with the tax of citizens, use your KAKENHI in a proper and efficient way, and refrain from committing research misconduct.
Please carefully check through the following contents and check the box of each item (Point for Verification) in case you will comply with it. You are not able to go to the screen and create formal application for grant delivery form and grant request form unless you check all boxes of the items below.
Principal Investigators have the responsibility to make sure that these instructions are conveyed to Co-Investigator(s) (Co-PI) so as to ensure their understanding regarding the maintenance of propriety in research activities and appropriate use of research grants.

記

(研究活動の公正性の確保) Maintenance of Propriety in Research Activities

【Japanese】
科学研究における不正行為は、科学を冒瀆し、人々の科学への信頼を揺るがし、科学の発展を妨げるものであって、本来あってはならないものである。また、未来への先行投資として、国費による研究費支援が増加する中、国費により研究を遂行するに当たり、補助条件(交付条件)を理解しこれを遵守します。また、学術研究に対する国民の負担を軽減すること、及び科研費が国民の貴重な税金で賄われていることを十分認識し、科研費を適正かつ効率的に使用するとともに、研究において不正行為を行わないことを約束します。

【English】
When conducting research activities using KAKENHI, I understand and comply with the supplementary conditions (funding conditions). Also, I clearly recognize that citizens have placed trust in scientific research and that KAKENHI are funded with their tax, and I therefore use KAKENHI in a proper and efficient way and refrain from committing research misconduct during my research.

【Japanese】
研究分担者はいません。
【English】
My project members do not include a Co-Investigator(s).

(補助条件の遵守について) For Compliance of Supplementary Conditions

【Japanese】
科学研究により研究を遂行するに当たり、補助条件(交付条件)を理解しこれを遵守します。また、学術研究に対する国民の負担を軽減すること、及び科研費が国民の貴重な税金で賄われていることを十分認識し、科研費を適正かつ効率的に使用するとともに、研究において不正行為を行わないことを約束します。

【English】
When conducting research activities using KAKENHI, I understand and comply with the supplementary conditions (funding conditions). Also, I clearly recognize that citizens have placed trust in scientific research and that KAKENHI are funded with their tax, and I therefore use KAKENHI in a proper and efficient way and refrain from committing research misconduct during my research.

次へ進む キャンセル

ログアウト

⑧ 「申請者向けメニュー」画面が表示されます。



ご注意

- ※ 審査委員候補者として登録されている場合、「審査委員候補者情報の登録・修正を行う」ボタンが表示されます。
- ※ 「審査委員候補者情報の登録・修正を行う」をクリックした場合は、「審査委員候補者向けメニュー」画面が表示されます。操作方法の詳細については、「審査委員候補者向け操作手引」を参照してください。

2.10. 実施状況報告情報の作成(初年度終了後～最終年度前年度終了後)

報告書の内容は科学研究費助成事業データベース(https://kaken.nii.ac.jp/)において広く公開されます。

2.10.1 実施状況報告情報の入力

実施状況報告情報を入力するには、以下の手順に従います。

※ 一定時間、ボタン操作をせずにおくと、セッションタイムアウトしてしまい、入力した情報が消えてしまう場合があります。本システムでは、60分以上のタイムアウト時間を設定していますが、ご利用環境により、更に短い時間でタイムアウトとなる場合があります。随時「一時保存」ボタンをクリックして情報を保存してください。セッションタイムアウトしてしまった場合には、以下のエラーメッセージが表示されます。

『ログインされていないか、またはセッションタイムアウトが発生しました。』

※ この場合には、「電子申請のご案内」ページの「よくあるご質問」を参照の上、再度ログインして操作をやりなおしてください。

- ① 「申請者向けメニュー」画面で、申請する課題の「状況」欄の「課題状況の確認」をクリックします。



- ② 「課題管理 (学術研究助成基金助成金)」画面が表示されます。該当年度の「実施状況報告書」欄の [入力] をクリックします。

基本情報

区分	課題番号	研究種目	応募区分	所属研究機関名	部署名・職名	研究者番号	研究代表者名 漢字	フリガナ	課題状況	研究期間
基金	17K12945	2017年度 基盤研究(C)	一般	〇〇大学	教育学部 教授 修正	10100001	交付太郎	タカヲ	研究中	2017年度～2019年度

研究課題名
 和文 ▼▼の〇〇〇〇〇〇に関する研究
 英文 Study of XXXXXXXXXX

必ず提出する書類

	交付申請書 [D-2-1]	支払請求書 [D-4-1, F-2-1] 変更交付申請書兼支払請求書 [F-2-2]	実施状況報告書 [F-6-1, F-7-1] 実績報告書 [F-6-2, F-7-2]
2017年度	学術受理 (1版) 2017年4月19日学振へ送信 送信	学術受理 (1版) 2017年4月19日学振へ送信 送信	未作成 (0版) 入力 提出期間:2018年4月1日～2018年5月31日
2018年度		学術受理 (1版) 2018年2月20日学振へ送信 送信	提出予定
2019年度			提出予定

必要に応じ提出する書類

前編, 支払請求書 [F-3-1] 変更交付申請書兼前編, 支払請求書 [F-3-2]	直接経費使用内訳変更承認申請書 [F-4-1, F-4-2]	補助事業廃止承認申請書 [F-5-1]	研究分担者変更承認申請書 [F-9-1]	研究代表者所属研究機関変更届 [F-10-1]
作成する	作成する	作成する	作成する	
研究中断届 [F-13-1]	産前産後の休暇又は育児休業の取得に伴う補助事業期間延長承認申請書 [F-13-2]	海外における研究滞在等による研究中断承認申請書 [F-13-4]	補助事業期間延長承認申請書 [F-14]	補助事業期間再延長承認申請書 [F-14-CV]
作成する	作成する	作成する	最終年度のみ作成できます。	
その他の様式				
作成する				

■「必要に応じ提出する書類」について、作成してから日本学術振興会に提出されないまま一定期間が経過すると、自動的に削除されることがあります。

ご注意

- ※ 「入力」ボタンが表示されていない場合には、所属する研究機関の事務局等へお問い合わせください。

入力項目		
項目名	必須	内容
特許等との関連と公表を差し控える必要がある理由		特許等との関連と公表を差し控える必要がある理由を入力します。

その他のボタン	
[保存せずに戻る]	入力した実施状況報告情報を保存せずに、「課題管理 (学術研究助成基金助成金)」画面に戻ります。

注意

- ※ 画面上に*印のついている項目は必須項目ですので、必ず入力してください。
- ※ 未入力等エラーがある場合、各項目の上に赤字でエラーが表示され、エラーとなった項目の背景色がピンク色に変わります。エラー内容を確認して再入力してください。
- ※ 文字化けや別の文字として認識される場合があるため、JIS 第1水準及び第2水準以外の文字コードや特殊フォントは使用することができませんので、ご注意ください。
- ◎ 使用してはいけない文字の例
 - ・半角カナ
 - ・○数字 (①、②、③・・・)
 - ・ローマ数字 (I～Vの小文字を含む)
 - ・特殊文字
 - ・元号を全角一文字で表している文字 (平成 昭和 など)
 - ・数量単位を全角一文字で表している文字 (ミリメートル mm cm km cc m² など)
 - ・ハート など
 - ・外字
 - ・その他「JIS X0208-1983」にない漢字 (難しい漢字や旧字体など)
- ◎ 使用してもよい文字の例
 - ・半角の英数字・記号 (!"#\$%&'()*@[]?A~z)
 - ・全角の漢字
 - ・全角のひらがな、カタカナ
 - ・全角のキーボード上に記されている記号や比較的一般的な記号 (、・?「」○●◎□@%# \$ * + ~ < >)
- ※ 各入力項目には、入力可能な最大文字数が設定されています。入力しきれなかった場合には画面の指示に従って文字数を減らして入力してください。
- ※ 研究代表者の部局・職名は当該年度の3月31日時点の情報を入力してください。
- ※ 「職」欄について、職名の選択時に「その他」を選択した場合は、必ず実際の職名を入力してください。また、「研究員」を選択した場合で、実際の職名が「研究員」以外の場合はその職名を入力してください。

- ④ 「研究実績の概要の入力」画面が表示されます。入力項目に入力し、[一時保存をして次へ進む] をクリックします。

当該年度に実施した研究の成果について、その具体的内容、意義、重要性等を、「交付申請書」に記載した「研究の目的」「研究実施計画」に照らし600字～800字でできるだけ分かりやすく入力してください。(最大800文字、改行は5回まで入力可。)

※入力に当たって、専門用語を多用することは避けてください。

本研究課題の研究成果の内容をよく表していると思われるキーワードを1項目以上8項目以内で記入してください。

※化学式、数式等の使用は極力避けてください。

当該年度までに実施した研究を踏まえ、「交付申請書」に記載した「研究の目的」に対する当該年度までの進捗状況について、以下の区分により自己点検による評価を行い、プルダウンから選択してください。

<区分>
 (1) 当初の計画以上に進展している
 (2) おおむね順調に進展している
 (3) やや遅れている
 (4) 遅れている

また、その区分を選択した理由を簡潔に記載してください。(最大800文字、改行は5回まで入力可。)

本研究課題の今後の推進方法について簡潔に記載してください。(最大800文字、改行は5回まで入力可。)

一時保存をして次へ進む

令和3年度の報告になりますので、
令和3年度が「本年度」、
令和4年度は「次年度」と
なりますのでご注意ください。

入力項目		
項目名	必須	内容
研究実績の概要	○	研究実績の概要を入力します。
キーワード (1~8)	○	キーワードを1つ以上8つ以内で入力します。
現在までの進捗状況	○	プルダウンから現在までの進捗状況の区分を選択します。
理由	○	現在までの進捗状況の理由を入力します。
今後の研究の推進方策	○	今後の研究の推進計画を入力します。

その他のボタン	
[一つ前に戻る]	一つ前の画面に戻ります。
[一時保存]	入力した実施状況報告情報を保存して、一時的に作業を中断します。再開するには、「2.11.3 再開」を参照してください。
[保存せずに戻る]	入力した実施状況報告情報を保存せずに、「課題管理 (学術研究助成基金助成金)」画面に戻ります。

ご注意

- ※ 研究実績の概要、現在までの進捗状況、今後の研究の推進方策等の最大文字数について
一時保存時には研究実績の概要、現在までの進捗状況、今後の研究の推進方策は3200バイトまで保存することができます。
[一時保存をして次へ進む] をクリックする時には、それぞれ1600バイト (改行は5回まで入力可能) が上限となっていますので、それ以内の文字数に修正してから、[一時保存をして次へ進む] をクリックしてください。
- ※ 「研究実績の概要」欄、「現在までの進捗状況 (理由)」欄、「今後の研究の推進方策」欄の入力文字数がカウントされますので、入力を目安としてください。
- ※ 改行は実施状況報告書 PDF に反映されます。

研究発表の入力については、入力方法に細かい指定がありますので、必ず、「記入例作成上の注意」をご確認いただき入力をすすめてください。

独立行政法人日本学術振興会科研費電子申請システム 研究者向け操作手引
(学術研究助成基金助成金) (交付内定時・決定後)

- ⑤ 「研究発表の入力」画面が表示されます。入力項目に入力し、[一時保存をして次へ進む] をクリックします。入力行を追加して雑誌論文、学会発表、図書を登録する場合は、[追加] をクリックして入力欄を表示し、入力します。

入力欄が足りない場合は、「追加」ボタンをクリックして入力欄を表示してください。

The screenshot shows the '研究発表の入力' (Research Presentation Input) screen. It is divided into three main sections: ① 雑誌論文 (Journal Articles), ② 学会発表 (Conference Presentations), and ③ 図書 (Books). Each section has a table with columns for '著者名' (Author Name), '論文タイトル' (Title), '雑誌名' (Journal Name), '発行年' (Year), '国際共著' (International Co-authorship), and 'オープンアクセス' (Open Access). Below each table are '追加' (Add) and '一時保存' (Save) buttons. At the bottom of the page, a red circle highlights the '一時保存をして次へ進む' button.

① 雑誌論文

(1) 「掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)」「著者名」「論文タイトル」「雑誌名」「巻」「発行年 (西暦)」「最初と最後の頁」をそれぞれ入力してください。DOIを入力後に、[検索]をクリックすると、「著者名」「論文タイトル」「雑誌名」「巻」「発行年 (西暦)」「最初と最後の頁」が表示されるので、誤りが無いか確認した上で登録してください。(ただし、データベースに情報が無い場合は、正しいDOIを入力しても表示されません)。また、DOIがない場合には、なしにチェックしてください。「著者名」は原則全員となりますが、第一著者、研究代表者、研究分担者及び研究協力者を省略しなければ最大20名程度 (最大160文字) としても差し支えありません。電子ジャーナル等でページ数がない場合、または本様式作成時点で巻や頁が未定の場合は「-」を入力してください。

(2) 「査読の有無」

雑誌論文が査読付論文の場合は、チェックを入れてください。DOIで検索した場合、本項目は反映されないの、注意してください。

(3) 「国際共著」

雑誌論文が国際共著論文 (異なる国を拠点とする複数の研究者による共著論文) の場合は、チェックを入れてください。

(4) 「オープンアクセス」

雑誌論文をオープンアクセス誌に発表した場合や、機関リポジトリに登録するなどセルフアーカイブ等により公開した場合、あるいはいずれかの予定がある場合は、チェックを入れてください。

② 学会発表

(1) 「発表者名」「発表タイトル」「学会等名」「発表年」を入力してください。「発表者名」は原則全員ですが、発表代表者、研究代表者、研究分担者及び研究協力者を省略しなければ最大20名程度 (最大160文字) としても差し支えありません。

(2) 「招待講演」

学会発表が招待講演の場合はチェックを入れてください。

(3) 「国際学会」

学会発表が国際学会の場合はチェックを入れてください。

③ 図書

(1) 「著者名」「出版社」「書名」「発行年」「総ページ数」を入力してください。「著者名」は原則全員ですが、第一著者、研究代表者、研究分担者及び研究協力者を省略しなければ最大20名程度 (最大160文字) としても差し支えありません。なお、「ISBN」を入力後に、[検索]をクリックすると「著者名」「出版社名」「書名」「発行年」「総ページ数」が表示されるので、誤りが無いか確認した上で登録してください。

(2) 本様式作成時点で、発行が確定しているが、「総ページ数」が未定の場合は「-」を入力してください。

※【雑誌論文】「掲載論文のDOI」の「DOIなし」「変更する」の表示について

(1)初期表示時、「DOI」は入力可、「DOIなし」のみ表示されます。

1.掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) DOI of Article (Digital Object Identifier)		5.巻 Volume	査読の有無 Referee Reading (or not)	国際共著 International Publications	オープンア クセス Open Access
2.著者名 Name of Authors	6.発行年 Year of Publication	7.最初と最後の頁 First and Last Page			
3.論文標題 Article Title					
4.雑誌名 Name of Journal					
1.DOI 10.1002/LSICJ 0002-8231(199601)47:1<23:DOMTT>2.0TX;2-1		5.巻 VOL.13	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 有
2.著者名 ○○ ○○	6.発行年 2018 年	7.最初と最後の頁 印刷中			
3.論文標題 ○○の研究					
4.雑誌名 ○○ジャーナル					

(2)「DOIなし」がチェックされた場合、「DOI」は入力不可となります。

1.掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) DOI of Article (Digital Object Identifier)		5.巻 Volume	査読の有無 Referee Reading (or not)	国際共著 International Publications	オープンア クセス Open Access
2.著者名 Name of Authors	6.発行年 Year of Publication	7.最初と最後の頁 First and Last Page			
3.論文標題 Article Title					
4.雑誌名 Name of Journal					
1.DOI		5.巻 VOL.13	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 有
2.著者名 ○○ ○○, ○○ ○○	6.発行年 2018 年	7.最初と最後の頁 印刷中			
3.論文標題 ○○の研究					
4.雑誌名 ○○ジャーナル					

(3)「検索」ボタンを押下し「DOI」を反映した場合、または「検索」ボタンを押下後、一時保存し再表示した場合、「DOIなし」「変更する」が表示されます。

1.掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) DOI of Article (Digital Object Identifier)		5.巻 Volume	査読の有無 Referee Reading (or not)	国際共著 International Publications	オープンア クセス Open Access
2.著者名 Name of Authors	6.発行年 Year of Publication	7.最初と最後の頁 First and Last Page			
3.論文標題 Article Title					
4.雑誌名 Name of Journal					
1.DOI 10.1002/LSICJ 0002-8231(199601)47:1<23:DOMTT>2.0TX;2-2		5.巻 1巻	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 有
2.著者名 ○○○ ○○○	6.発行年 2016 年	7.最初と最後の頁 19~32			
3.論文標題 ○○○の研究					
4.雑誌名 JOURNAL OF ○○○					

(4)「変更する」がチェックされた場合、「DOI」は入力可となります。

1.掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) DOI of Article (Digital Object Identifier)		5.巻 Volume	査読の有無 Referee Reading (or not)	国際共著 International Publications	オープンア クセス Open Access
2.著者名 Name of Authors	6.発行年 Year of Publication	7.最初と最後の頁 First and Last Page			
3.論文標題 Article Title					
4.雑誌名 Name of Journal					
1.DOI 10.1002/LSICJ 0002-8231(199601)47:1<23:DOMTT>2.0TX;2-3		5.巻 1巻	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 有
2.著者名 ○○○○ ○○○○	6.発行年 2016 年	7.最初と最後の頁 19~32			
3.論文標題 ○○○○の研究					
4.雑誌名 JOURNAL OF ○○○○					

(5) 「変更する」をチェック後、再度、画面を表示した場合、「DOI」は入力可、「DOI なし」のみ表示されます。

1掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) DOI of Article (Digital Object Identifier)		5巻 Volume	査読の有無 Referees Reading (or not)	国際共著 International Publications	オープンアクセス Open Access
2著者名 Name of Authors	3論文標題 Article Title	6発行年 Year of Publication			
4雑誌名 Name of Journal		7最初と最後の頁 First and Last Page	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 有
1 DOI [10.1002/LSICJ0002-8231(199601)47:1<23:DOMTT>2.0TX-4] <input type="button" value="検索"/> <input type="checkbox"/> DOIなし		5巻 VOL.13			
<input type="button" value="追加"/> <input type="button" value="削除"/>	2著者名 □□□□ □□□□	6発行年 2018 年			
	3論文標題 □□□□の研究	7最初と最後の頁 印刷中			
	4雑誌名 □□□□ジャーナル				

入力項目		
項目名	必須	内容
雑誌論文 掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子)		雑誌論文の掲載論文の DOI を入力します。 雑誌論文に DOI が付されていない場合は、「DOI なし」にチェックを入れてください。変更する場合は、「変更する」にチェックを入れてください。
著者名		雑誌論文の著者名を入力します。
論文標題		雑誌論文の論文標題を入力します。
雑誌名		雑誌論文の雑誌名を入力します。
巻		雑誌論文の巻を入力します。
発行年		雑誌論文の発行年を入力します。
最初と最後の頁		雑誌論文の最初と最後の頁を入力します。
査読の有無		雑誌論文が査読付論文の場合にチェックします。
国際共著		雑誌論文が国際共著論文の場合にチェックします。
オープンアクセス		雑誌論文がホームページ等にすでに掲載されている場合はチェックします。
学会発表		学会発表の発表者名を入力します。
発表者名		学会発表の発表者名を入力します。
発表標題		学会発表の発表標題を入力します。
学会等名		学会発表の学会等名を入力します。
発表年		学会発表の発表年を入力します。
招待講演		学会発表が招待講演の場合にチェックします。
国際学会		学会発表が国際学会の場合にチェックします。
図書		図書の ISBN を入力します。
ISBN		図書の ISBN を入力します。
著者名		図書の著者名を入力します。
出版社		図書の出版社を入力します。

入力項目		
書名		図書の書名を入力します。
発表年		図書の発行年を入力します。
総ページ数		図書の総ページ数を入力します。

その他のボタン	
[登録(雑誌論文)]	雑誌論文一括取り込みファイルを登録することで、雑誌論文情報を一括で登録できます。一括登録した場合、現在登録している雑誌論文情報は一括登録した内容に全て置き換わります。 (雑誌論文一括取り込みファイルの CSV フォーマットに関しては「※雑誌論文一括取り込みファイル (CSV フォーマット)」を参照してください。)
[検索(雑誌論文)]	DOI が入力されている場合、DOI 検索連携クエリを利用して雑誌論文情報を取得し、各項目に設定します。
[追加(雑誌論文)]	雑誌論文の入力枠を 1 つ追加します。
[削除(雑誌論文)]	雑誌論文の入力枠を 1 つ削除します。
[登録(学会発表)]	学会発表一括取り込みファイルを登録することで、学会発表情報を一括で登録できます。一括登録した場合、現在登録している学会発表情報は一括登録した内容に全て置き換わります。 (学会発表一括取り込みファイルの CSV フォーマットに関しては「※学会発表一括取り込みファイル (CSV フォーマット)」を参照してください。)
[追加(学会発表)]	学会発表の入力枠を 1 つ追加します。
[削除(学会発表)]	学会発表の入力枠を 1 つ削除します。
[登録(図書)]	図書一括取り込みファイルを登録することで、図書情報を一括で登録できます。一括登録した場合、現在登録している図書情報は一括登録した内容に全て置き換わります。 (図書一括取り込みファイルの CSV フォーマットに関しては「※図書一括取り込みファイル (CSV フォーマット)」を参照してください。)
[検索(図書)]	ISBN が入力されている場合、ISBN 検索連携クエリを利用して図書情報を取得し、各項目に設定します。
[追加(図書)]	図書の入力枠を 1 つ追加します。
[削除(図書)]	図書の入力枠を 1 つ削除します。
[一つ前に戻る]	一つ前の画面に戻ります。
[一時保存]	入力した実施状況報告情報を保存して、一時的に作業を中断します。再開するには、「2.11.3 再開」を参照してください。
[保存せずに戻る]	入力した実施状況報告情報を保存せずに、「課題管理 (学術研究助成基金助成金)」画面に戻ります。

※ 雑誌論文一括取込ファイル (CSV フォーマット)

CSV ファイルフォーマット	DOI [160 桁], 著者名 [160 桁], 論文標題 [400 桁], 雑誌名 [200 桁], 巻 [30 桁], 発行年 [4 桁], 最初と最後の頁 [15 桁], 査読の有無 [1 桁], 国際の共著 [1 桁], オープンアクセス [1 桁]
CSV ファイルサンプル	10.1002/LSICI」0002-8231(199601)47:1<23:TDOMTT>2.0TX:2-2, ○ ○ ○, ○ ○ ○ の研究, JOURNAL OF ○ ○ ○ ○ ○, 1 巻, 2011, 19 ~ 32, 1,,

※ 学会発表一括取り込みファイル (CSV フォーマット)

CSV ファイルフォーマット	発表者名 [320 桁], 発表標題 [400 桁], 学会等名 [200 桁], 発行年 (開始) [4 桁], 発行年 (終了) [4 桁], 招待講演 [30 桁], 国際学会 [4 桁]
CSV ファイルサンプル	学振太郎, ○ ○ ○ の研究の発展的展開, 応用 ○ ○ 学会, 2010, , , ,

※ 図書一括取り込みファイル (CSV フォーマット)

CSV ファイルフォーマット	ISBN [30 桁], 著者名 [320 桁], 出版社 [400 桁], 書名 [400 桁], 発行年 [4 桁], 総ページ数 [50 桁]
CSV ファイルサンプル	978-0-0000-0000-0, ○ ○ ○ ○ ○, ○ ○ ○ ○ ○ 出版, ○ ○ ○ の研究, 2015, 100

- ⑥ 「産業財産権等の入力」画面が表示されます。入力項目に入力し、[一時保存をして次へ進む] をクリックします。2 行以上、研究成果による産業財産権の出願・取得状況を登録する場合は、[追加] をクリックして入力欄を表示し、入力します。使用しない各行は [削除] をクリックして入力欄を削除してください。

産業財産権等の入力

※注意事項
 ・ 入力内容が不正な場合、[一時保存をして次へ進む]ボタンをクリックしたとき、入力内容が保存されず、エラーメッセージが表示されます。
 ・ [一時保存]ボタンをクリックすると、入力内容が保存されます。

【研究成果による産業財産権の出願・取得状況】
 [Pending and Granted Status of Industrial Property Rights Based on Research Results]

※当該年度に出願又は取得したすべての産業財産権(特許権、実用新案権、意匠権)について入力し、過去年度については、当該年度中に登録したものをのみ入力してください。
 ※取得済みのみについては、当該年度中に登録したものをのみ入力してください。

出願・取得 Pending, Granted	産業財産権の名称 Name of Industrial Property Rights 産業財産権の種類、番号 Type and Number of Industrial Property Rights	発明者 Inventors 出願年 Year Applied	権利者 Rights Holders 取得年 Year Granted	国内・外国の別 Japan / Foreign
削除 出願中(Pending)	○○○技術 特許(Patent) 特許2011-217888	○○ ○○ 2011 年	● 同志 ○ 年	国内(Japanese)
削除 取得済(Granted)	○○○技術 実用新案(Utility Model) ■■■■	○○ ○○ 2011 年	○ 同志 ● ○○大学 2011 年	外国(Foreign)
追加				

【科研費を使用して開催した国際研究会】
 [International Workshops Funded by KAKENHI]

※当該年度に当該科研費を使用して国際学会、国際会議等の国際研究会(費用の一部を負担したものとみなす)を開催した場合には、国際研究会の内容を入力してください。

国際研究会名 Name of the International Workshop	開催年 Duration
	年 ~ 年
追加	

【本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況】
 [Implementation Status of International Joint Research Conducted in Relation to the Said Research Project]

※当該年度に、本邦において実施した国際共同研究(異なる国を拠点とする複数の研究機関(海外共同研究者)等と実施する研究)を実施した場合には、以下の「国際共同研究」欄にチェックをすることで、共同研究の概要(相手方研究機関)を入力し、「国際共同研究」欄のチェックを外すと、これらの欄への入力内容がクリアされますので注意してください。
 ※共同研究の相手方は「相手方研究機関」欄に入力してください。
 ※共同研究の相手方は「相手方研究機関」欄に入力してください。
 ※共同研究の相手方は「相手方研究機関」欄に入力してください。

国際共同研究 Joint International Research

共同研究相手国 Counterpart Country	相手方研究機関 Counterpart Research Institution	種別 Type
○ 削除		他 機関
他 外国		他 機関

【備考】
 [Remarks]

※研究費又は別添研究機関が作成した研究内容又は研究成果に関するwebページがある場合は、URLを入力してください。

web ページ Webpage	備考 Remarks
(1) タイトル Title URL http://www.example.com/xxxx/xxxx/xxxx	最大200文字、改行は2回まで入力可。(ただし、一時保存の際は400文字まで入力できます。) ○○○○○ 入力文字数: 5文字
(2) タイトル Title URL	
(3) タイトル Title URL	
(4) タイトル Title URL	
(5) タイトル Title URL	

一時保存をして次へ進む 一つ前に戻る 一時保存 保存せずに戻る

入力項目		
項目名	必須	内容
出願・取得		プルダウンから「出願中」「取得済」のどちらかを選択します。
産業財産権の名称		産業財産権の名称を入力します。
発明者		発明者の氏名を入力します。
権利者		権利者が発表者と同じ場合は、「同左」のラジオボタンを選択します。 異なる場合は、もう一方のラジオボタンを選択し、権利者の氏名を入力します。
産業財産権の種類、番号		プルダウンから産業財産権の種類を選択し、番号を入力します。
出願年		出願年を入力します。
取得年		取得年を入力します。 ※「出願・取得」で「取得済」を選択した場合のみ
国際研究集会名		国際研究集会名を入力します。
開催年（開始）		開催年（開始）を入力します。
開催年（終了）		開催年（終了）を入力します。
国際共同研究		国際共同研究を実施した場合にチェックします。
共同研究相手国		〔一覧〕 ボタンを押下して「国及び地域名一覧」画面で選択した渡航先の「国及び地域名」を表示します。 「共同研究相手国」を手入力したい場合は、「国及び地域名一覧」画面で最終行の「その他の国・地域」を選択してください。「共同研究相手国」が入力できる様になります。
相手方研究機関		相手方研究機関の名称を入力します。
他 機関		相手方研究機関が他に存在する場合に入力します。 上段 5 行の共同研究相手国が全て入力されていない場合、「一時保存をして次へ進む」ボタンを押下するとエラーとなります。
他 か国		共同研究相手国が他に存在する場合に入力します。 左 3 列の相手方研究機関が全て入力されていない場合、「一時保存をして次へ進む」ボタンを押下するとエラーとなります。
web ページ		研究内容や研究成果に関する WEB ページがある場合は、そのタイトルを入力します。
	URL	研究内容や研究成果に関する WEB ページがある場合は、その URL を入力します。
備考		研究内容や研究成果に関する WEB ページについて備考として記載したい事項がある場合は、その内容を入力します。

その他のボタン	
[追加 (産業財産権)]	産業財産権の入力枠を1つ追加します。
[削除 (産業財産権)]	産業財産権の入力枠を1つ削除します。
[追加 (国際研究集会)]	国際研究集会の入力枠を1つ追加します。
[削除 (国際研究集会)]	国際研究集会の入力枠を1つ削除します。
[一覧 (実施状況)]	「国及び地域名一覧」画面を別ウィンドウで表示します。
[削除 (実施状況)]	「共同研究相手国」欄をクリアします。
[一つ前に戻る]	一つ前の画面に戻ります。
[一時保存]	入力した実施状況報告情報を保存して、一時的に作業を中断します。再開するには、「2.11.3 再開」を参照してください。
[保存せずに戻る]	入力した実施状況報告情報を保存せずに、「課題管理 (学術研究助成基金助成金)」画面に戻ります。

ご注意

- ※ 国際共同研究にチェックをした場合のみ、共同研究相手国、相手方研究機関、他 機関、他 か国は入力可能となります。
- ※ 他 機関、他 か国は表示されている入力欄を全て入力している場合に使用します。例えば他 か国の場合、6 か国を超える共同研究相手国が存在する場合に使用します。任意の5 か国を入力欄に記入し、入力しきれない共同研究相手国の国数を入力します。

【本研究に関して実施した国際共同研究の実施状況】
 【Implementation Status of International Joint Research Conducted in Relation to the Said Research Project】

※ 当該年度に、本申請に関連して実施した国際共同研究(異なる国を拠点とする複数の研究協力者(海外共同研究者)等と実施する研究)を実施した場合には、以下の「国際共同研究」欄にチェックをすることにより、共同研究相手国、相手方研究機関の可否を入力してください。

※ 共同研究相手国は「国」(併せて「その他」)のいずれか「国際共同研究」欄のチェックを外すと、これらの欄への入力内容がクリアされますので注意してください。

※ 共同研究相手国は「国」(併せて「その他」)を選択すること。

(一覧に記載がない場合は一律下の「その他」地域を選択して任意に入力すること)

国際共同研究, Joint International Research

共同研究相手国 Counterpart Country		相手方研究機関 Counterpart Research Institution		
<input type="text"/>	<input type="button" value="追加"/> <input type="button" value="削除"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	他 <input type="text"/> 機関
<input type="text"/>	<input type="button" value="追加"/> <input type="button" value="削除"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	他 <input type="text"/> 機関
<input type="text"/>	<input type="button" value="追加"/> <input type="button" value="削除"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	他 <input type="text"/> 機関
<input type="text"/>	<input type="button" value="追加"/> <input type="button" value="削除"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	他 <input type="text"/> 機関
<input type="text"/>	<input type="button" value="追加"/> <input type="button" value="削除"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	他 <input type="text"/> 機関
他 <input type="text"/> 外国				

※ 「共同研究相手国」は「国及び地域名一覧」画面からの選択となります。

国及び地域名一覧

選択	国及び地域名	英語国及び地域名
<input type="radio"/>	アフガニスタン	AFGHANISTAN
<input type="radio"/>	アルバニア	ALBANIA
<input type="radio"/>	アルジェリア	ALGERIA
<input type="radio"/>	アンドラ	ANDORRA
<input type="radio"/>	アンゴラ	ANGOLA
<input type="radio"/>	アンティグア・バーブーダ	ANTIGUA & BARBUDA
<input type="radio"/>	アルゼンチン	ARGENTINA
<input type="radio"/>	アルメニア	ARMENIA
<input type="radio"/>	オーストラリア	AUSTRALIA
<input type="radio"/>	オーストリア	AUSTRIA
<input type="radio"/>	アゼルバイジャン	AZERBAIDJAN
<input type="radio"/>	バハマ	BAHAMAS
<input type="radio"/>	バーレーン	BAHRAIN
<input type="radio"/>	バングラデシュ	BANGLADESH
<input type="radio"/>	バチカン	VATICAN
<input type="radio"/>	ベネズエラ	VENEZUELA
<input type="radio"/>	ベトナム	VIET NAM
<input type="radio"/>	イエメン	YEMEN
<input type="radio"/>	ザンビア	ZAMBIA
<input type="radio"/>	ジンバブエ	ZIMBABWE
<input checked="" type="radio"/>	その他の国・地域	

その他のボタン	
[選択]	共同研究相手国を選択します。
[確定]	選択した共同研究相手国の情報を「産業財産権等の入力」画面に送信します。
[閉じる]	処理をキャンセルして、「国及び地域名一覧」画面を閉じます。

- ⑦ 「費目別収支状況の入力」画面が表示されます。入力項目に入力し、[一時保存をして次へ進む] をクリックします。

科研費電子申請システム

申請者向けメニュー> 実施状況確認画面 (所属研究機関の方) / 主要な各項目概要の入力 / 補助金受領等の入力 / 説明 / 印刷 / 印刷履歴

費目別収支状況の入力

< 戻る / 再計算 >

- * 印字した項目は必須の入力項目です。[支出がない場合は「0」と入力してください]
- * 旅費などの積算などにより、前年度に支出した助成金が戻ってきた場合には、「戻入額」欄にその金額を入力してください。
- * 入力した内容に誤りがないかを確認して、[一時保存をして次へ進む]ボタンをクリックしてください。
- * [一時保存]ボタンをクリックすると、これまで入力した内容は保存されます。

交付決定額 Grant Amount	5,460,000円
うち既受額累計 (a) Total Amount Received	1,950,000円
うち支出額累計 (b) Total Amount Paid Out	1,600,000円
差引額 (a-b) Difference	350,000円

【費目別収支状況等】
 [Income and Expenditure Status by Expense Item etc.]

※当該年度の実研究課題全体の費目別収支状況等について入力してください。

	合計(c+d) Grand Total	直接経費 (円) Direct Costs					間接経費 積戻額(d) (円) Transfer Amount for Indirect Costs
		物品費 Article Costs	旅費 Travel Expenses	人件費・謝金 Personnel Expenditure and Remuneration	その他 Miscellaneous	計(c) Total	
交付決定額の 内訳 Breakdown of Grant Amount	5,460,000	3,500,000	200,000	0	500,000	4,200,000	1,260,000
前年度までの 実支出額の 累計額 Total Actual Expenditure up to Previous Fiscal Year	0	0	0	0	0	0	0
前年度の 実支出額から の戻入額 Rebate Amount from Actual Expenditure of Previous Fiscal Year	-	0	0	0	0	0	0
当該年度 の実支出額 (A) Actual Expenditure of Fiscal Year Concerned	1,600,000	1,000,000	50,000	0	100,000	1,150,000	450,000
実支出額の 累計額 Total Actual Expenditure	1,600,000	1,000,000	50,000	0	100,000	1,150,000	450,000
	合計(i+j) Grand Total	前年度未使用額 (e) Amount Unused from Previous Fiscal Year	支払請求額 (f) Amount Requested for Payment	前倒し支払請求 額 (g) Amount Requested for Carry-Forward Payment	受入利息 (h) Interest Received	計 (i) Total	間接経費 積戻額 (j) Transfer Amount for Indirect Costs
当該年度の 所要額 (B) Amount Required for Fiscal Year Concerned	1,950,000 円	0円 ↳ 戻入額 Rebate Amount	1,400,000円	100,000円	0円 Total Amount	1,500,000 円	450,000 円
次年度使用 額 (B-A) Amount to be Used Next Fiscal Year	350,000 円						

入力していただく情報は「収支状況データ」に記載していますので、ご確認いただき入力してください。

再計算

「当該年度の実支出額(A)」等を入力後「再計算」ボタンをクリックすることで、自動計算された金額が表示されます。

「当該年度の実支出額(A)」については当該年度に使用した額を費目ごとに入力してください。支出がない場合は「0」を入力してください。

※次ページに続く

154

【バイアウト経費の内訳入力】
 【Breakdown of buyout expenses】

- ・当経費種に変化したすべてのバイアウト経費について入力してください(研究員毎数が変化した場合は)。
- ・バイアウト経費は「その他」の項目で計上していただくことになっておりますのでご注意ください。
- ・1時間未満は切り上げて入力してください。(30分=1時間)
- ・バイアウト経費の名称は申請時報告PDFには出力されません。

再計算

代行業務の種類 Kind of duties other than research	代行業務の具体的な内容、人数 等 Specifics and the number of acting person(s), etc, of duties other than research	業務が免除されたおおよその時間(h) Approximate time of exempted duties (Estimated hours)	総額(円) Total Amount
前部		2	100000
後部			
合計 Grand Total			100,000 円

【次年度使用額が生じた理由と使用計画】
 【Reasons for Incurring Amount to be Used Next Fiscal Year and Usage Plan】

※「次年度使用額 (B-A)」欄が「0」より大きい場合に、当該助成金が生じた状況、及び、翌年度分として請求した助成金と合わせた使用計画について簡単に入力してください(「次年度使用額(B-A)」欄が「0」以下の場合は、この欄を入力する必要はありません)。

次年度使用額が生じた理由と使用計画
 Reasons for Incurring Amount to be Used Next Fiscal Year and Usage Plan

最大600文字(1200バイト)、改行は3回まで入力可。ただし、一時保存の際は1200文字(2400バイト)まで入力できます。(全角文字は2バイト、半角文字は1バイトと換算)

入力文字数: 28文字

【備考欄】
 【Remarks Column】

※補助事業で1年中途で当該年度に支出実績がない場合には、その中途事由及び中期経過を備考欄に入力してください。

備考欄
 Remarks Column

廃止: 20XX年XX月XX日、直接経費内訳変更: 20XX年XX月XX日、間接経費交付決定額変更: 20XX年XX月XX日、中断: 20XX年XX月XX日~20XX年XX月XX日、延長: 20XX年XX月XX日

最大100文字、改行は1回まで入力可。(ただし、一時保存の際は200文字まで入力できます。)

入力文字数: 12文字

★ 一時保存をして次へ進む | 一つ前に戻る | 一時保存 | 保存せずに戻る

「次年度使用額 (B-A)」欄が「0」より大きい場合に入力してください。
 次年度使用額が生じた理由、及び次年度使用額と当該年度以降分として請求した助成金を合わせた使用計画を簡潔に入力してください。(最大600字。改行は3回まで入力可)。

令和3年度の報告になりますので、令和3年度が「本年度」、令和4年度は「次年度」になりますのでご注意ください。

入力項目		
項目名	必須	内容
前年度の実支出額からの戻入額		前年度の実支出額に戻入額がある場合、チェックを入れます。
物品費		前年度の実支出額の物品費に戻入額がある場合、その金額を入力します。
旅費		前年度の実支出額の旅費に戻入額がある場合、その金額を入力します。
人件費・謝金		前年度の実支出額の人件費・謝金に戻入額がある場合、その金額を入力します。
その他		前年度の実支出額のその他に戻入額がある場合、その金額を入力します。
当該年度の実支出額	○	当該年度の実支出額の物品費を入力します。
物品費	○	当該年度の実支出額の物品費を入力します。
旅費	○	当該年度の実支出額の旅費を入力します。
人件費・謝金	○	当該年度の実支出額の人件費・謝金を入力します。
その他	○	当該年度の実支出額のその他を入力します。

入力項目		
項目名	必須	内容
代行業務の種類		代行業務の種類をプルダウンから選択します。また、同行の他項目が入力されている場合のみ、代行業務の種類を選択が必須となります。
代行業務の具体的な内容・人数など		同行の他項目が入力されている場合のみ、代行業務の具体的な内容・人数の入力が必須となります。
業務が免除されたおおよその時間(h)		同行の他項目が入力されている場合のみ、業務が免除されたおおよその時間の入力が必須となります。
総額(円)		同行の他項目が入力されている場合のみ、総額の入力が必須となります。
次年度使用額が生じた理由と使用計画		次年度使用額がある場合、その次年度使用額が生じた理由と使用計画を入力します。
備考欄	○	各種申請の提出状況や日本学術振興会承認年月日などを入力します。

その他のボタン	
[再計算]	当該年度の実支出額の合計や実支出額の累計額を表示します。
[追加]	バイアウト経費の内訳の入力枠を1つ追加します。
[削除]	バイアウト経費の内訳の入力枠を1つ削除します。
[一つ前に戻る]	一つ前の画面に戻ります。
[一時保存]	入力した実施状況報告情報を保存して、一時的に作業を中断します。再開するには、「2.11.3 再開」を参照してください。
[保存せずに戻る]	入力した実施状況報告情報を保存せずに、「課題管理(学術研究助成基金助成金)」画面に戻ります。

ご注意

- ※ 2年度目以降の実施状況報告書作成時には、「前年度の実支出額からの戻入額」欄は、画面上のチェックボックスを選択した場合のみ入力項目になりますので、該当する戻入額を入力してください。

Expenditure up to previous fiscal year						
<input checked="" type="checkbox"/> 「前年度の実支出額からの戻入額」を入力する場合は、チェックボックスにチェックを入れた上で、金額を入力してください。 前年度の実支出額からの戻入額						
Rebate Amount from Actual Expenditure of Previous Fiscal Year	-	* 0	* 1000	* 0	* 0	1,000
当年度の実支出額 (A)	2,920,000	* 220000	* 20000	* 0	* 100000	2,320,000
実支出額の累計額	4,519,005	3,200,005	69,000	0	200,000	1,050,000
					うち既受領額累計 (Interest from Savings Account)	3,489,005
						35
		前年度未使	支払請求額	前額支払	請求額 (a)	受入利息
						間接経費

- ※ 実支出額などを入力後、[再計算] をクリックし、実支出額の累計額などを確認してください。
- ※ 直接経費と間接経費の額は、所属研究機関事務担当者にご確認ください。
- ※ 次年度使用額が生じた理由と使用計画、備考欄の最大文字数について
一時保存時には次年度使用額が生じた理由と使用計画はそれぞれ 1600 バイト、備考欄は 200 文字まで保存することができます。
[一時保存をして次へ進む] をクリックする時には、次年度使用額が生じた理由と使用計画はそれぞれ 800 バイト (改行は 2 回まで入力可能)、備考欄は 100 文字 (改行は 1 回まで入力可能) が上限となっていますので、それ以内の文字数に修正してから、[一時保存をして次へ進む] をクリックしてください。
- ※ 次年度使用額が生じた理由と使用計画、備考欄の入力文字数がカウントされますので、入力を目安としてください。
- ※ 改行は実施状況報告書 PDF に反映されます。
- ※ 国際共同研究加速基金 (国際共同研究強化(B)) の場合は、「交付決定額」に表示する金額は「うち既受領額累計 (a)」と同じ金額を表示します。

交付決定額 (Grant Amount)	8,500,000円
うち既受領額累計 (a) (Total Amount Received)	4,500,000円
うち支出額累計 (b) (Total Amount Paid Out)	1,200,000円
差引額 (a-b) (Difference)	5,000,000円

合計 (c-a) (円)	直接経費 (円) (Direct Costs)				間接経費 (円) (Indirect Costs)
	物品費 (Article Costs)	旅費 (Travel Expenses)	人件費・謝金 (Personnel Expenses)	その他 (Miscellaneous)	
計 (c) (Total)					計 (c) (Total)

- ⑧ 「主要な物品明細書の入力」画面が表示されます。入力項目に入力し、[一時保存をして次へ進む] をクリックします。2 行以上、主要な物品を登録する場合は、[追加] をクリックして入力欄を表示し、入力します。使用しない物品欄は [削除] をクリックして入力欄を削除してください。



一品又は一組若しくは一式の価格が50万円以上の物品（図書を含む。消耗品、備品の別を問わない。）について入力してください。

共用設備を購入した場合は、本科研費で負担した額が50万円未満であっても、価格が50万円以上の場合には入力してください。

この際、「金額」欄には購入した物品等の価格を入力し、「合算使用の負担額」欄の「合算」にチェックを入れ、同欄に本科研費で負担した額を入力してください。

入力項目		
項目名	必須	内容
品名		品名を入力します。
仕様 型・性能等		仕様、型・性能等を入力します。
数量		数量を入力します。
単価		単価を入力します。
金額		金額を入力します。
合算使用の負担額		合算使用の負担額を入力する場合にチェックします。
合算使用の負担額		合算使用の負担額を入力します。
共用設備		共用設備の場合にチェックします。
共用設備		
設置研究機関名		設置研究機関名を入力します。

その他のボタン	
[追加]	物品の入力枠を1つ追加します。
[削除]	物品の入力枠を1つ削除します。
[一つ前に戻る]	一つ前の画面に戻ります。
[一時保存]	入力した実施状況報告情報を保存して、一時的に作業を中断します。再開するには、「2.11.3 再開」を参照してください。
[保存せずに戻る]	入力した実施状況報告情報を保存せずに、「課題管理 (学術研究助成基金助成金)」画面に戻ります。

⑨ 「補助事業者等の入力」画面が表示されます。入力項目に入力し、[一時保存をして次へ進む] をクリックします。

JSPS 科研費電子申請システム

申請者向けメニュー > 実施状況報告書作成(所属研究機関情報確認の代表者情報等の確認) > 研究実施の概要の入力 > 研究実施の概要の入力 > 費目別収支状況の入力 > 主要な科目明細書の入力 > 補助事業者等の入力 > 途中 > 実施状況報告書確認

補助事業者等の入力

< 注意事項 >

- 研究代表者及び研究分担者について、「直接経費の当該年度実支出額」、「間接経費の当該年度譲渡額」を入力してください。なおこの入力項目は必須の入力項目です。
- 入力した内容に誤りがあるかを確認して、「一時保存をして次へ進む」ボタンをクリックしてください。
- 「一時保存」ボタンをクリックすると、これまで入力した内容は保存されます。
- 研究分担者について、当該年度の3月31日時点での所属研究機関(部局)・職名が表示されているかを確認してください。
- 表示されている所属研究機関、部局及び職名が当該年度の3月31日時点の属職と異なる場合、正しい情報に修正してください。
- 当該年度の研究分担者が6名以上の場合は、左のチェックボックスにチェックを入れ、研究実施状況報告書に出力する研究分担者6名を選択してください。
- 備考欄には、研究代表者及び研究分担者が当該年度途中で所属研究機関を変更した場合は、それぞれの研究機関に属していた所属機関(番号)と、() 書きで入力するものと、それぞれの研究機関名を入力してください。
- 備考欄には、最大100文字、改行(改行)内で入力してください。

研究組織(研究代表者、研究分担者)
Project Members List (Principal Investigator, Co-Investigator)

選択 Selection	区分 Destination	研究者番号 Researcher Number	所属研究機関 Research Institution	直接経費(円) Direct Costs				間接経費の 譲渡額(円) Transfer Amount for Indirect Costs	録退 Withdrawal	備考 Remarks
				1. 前年度までの実支出額の累計額 Total Actual Expenditure up to the Previous Fiscal Year	2. 前年度の実支出額からの戻入額 Rebate Amount from Actual Expenditure of the Previous Fiscal Year	3. 当該年度実支出額 Actual Expenditure of the Fiscal Year Concerned	4. 実支出額の累計額 Total Actual Expenditure			
研究代表者		12943678 (フリガナ) タニヒロヨ タロウ (漢字等) 代妻 太郎	1.(番号)12943 AAA 大学 2.AA学部 3.教授	0	0	550,035	550,035	300,000		<300,000> 総合大学 (100,000) ○○大学 変更:平成23年×月×日 <20,000> AAA大学 変更:平成23年×月×日
研究分担者		62915678 (フリガナ) スズキ アキラ (漢字等) 分取 三郎	1.(番号)102945 ○○○大学 2.* ○○学部 3.* 新卒	0	0	300,000	300,000	80,000		録退:平成23年×月×日
研究分担者		53945678 (フリガナ) スズキ アキラ (漢字等) 分取 四郎	1.(番号)103456 ○○○大学 2.* ○○学部 3.* ○○○	0	0	200,000	200,000	80,000		追加:平成23年×月×日 (5,000) ○○○大学 (2,000) ○○○大学 変更:平成23年×月×日
研究分担者		64345678 (フリガナ) スズキ アキラ (漢字等) 分取 五郎	1.(番号)122356 EEE大学 2.* EE学部 3.* 教授	0	0	100,000	100,000	0	録退	録退:平成23年×月×日
研究分担者		82945678 (フリガナ) スズキ アキラ (漢字等) 分取 二郎	1.(番号)122045 BBB大学 2.* BB学部 3.* 教授	0	0	0	100,000	0	録退	録退:平成23年×月×日

費目別収支状況
Income and Expenditure Status by Expense Item

当該年度実支出額(直接経費) Actual Expenditure of the Fiscal Year Concerned (Direct Costs)	1,150,035 円	情報更新
当該年度実支出額(間接経費譲渡額) Actual Expenditure of the Fiscal Year Concerned (Transfer Amount for Indirect Costs)	450,000 円	
補助事業者 Members of the Funded Project	補助事業者 合計 Total Members of the Funded Project	5 名
実支出額の累計額 合計 Total Actual Expenditures	1,150,035 円	
当該年度実支出額 合計 Total Actual Expenditure of the Fiscal Year Concerned	1,150,035 円	
間接経費の譲渡額 合計 Total Transfer Amount for Indirect Costs	450,000 円	

一時保存をして次へ進む 一つ前に戻る 一時保存 保存せずに戻る ログアウト

入力していただく情報を「収支状況データ」に記載していますので、ご確認いただき入力してください。

研究分担者の所属機関・部局・職名は令和4年3月31日時点のものが表示されているかを確認し、異なる場合には、正しい情報を入力してください。

研究分担者が6名以上の場合、「選択」欄にチェックボックスが表示されますので、研究実施状況報告書に表示する5名を選択してください。

研究代表者及び研究分担者ごとに当該年度の実支出状況について円単位で入力してください。また、研究代表者及び研究分担者ごとに当該年度の間接経費の譲渡額を入力してください。

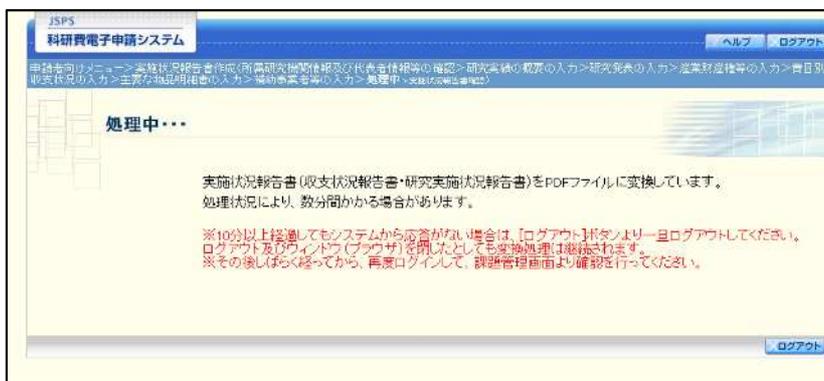
入力項目		
項目名	必須	内容
研究代表者 前年度の実支出額からの戻入額	○	研究代表者の前年度の実支出額からの戻入額を入力します。
当該年度実支出額	○	研究代表者の当該年度の実支出額を入力します。
間接経費の譲渡額	○	研究代表者の間接経費の譲渡額を入力します。
備考		当該年度中に研究代表者の異動が発生した場合は、その旨を記載します。
研究分担者 所属研究機関番号	○	研究分担者の当該年度の3月31日時点の所属研究機関番号を入力します。
部局名	○	研究分担者の当該年度の3月31日時点の部局名を入力します。
職名		研究分担者の職が「研究員」、「その他」の場合、職名を入力します。
前年度の実支出額からの戻入額	○	研究分担者の前年度の実支出額からの戻入額を入力します。
当該年度実支出額	○	研究分担者の当該年度の実支出額を入力します。
間接経費の譲渡額	○	研究分担者の間接経費の譲渡額を入力します。
備考		当該年度中に研究分担者の追加や辞退が発生した場合は、その旨を記載します。

その他のボタン	
[一覧 (所属研究機関)]	「機関番号一覧」画面を表示します。
[情報更新]	当該年度実支出額、間接経費の譲渡額の合計をそれぞれの欄に表示します。
[一つ前に戻る]	一つ前の画面に戻ります。
[一時保存]	入力した実施状況報告情報を保存して、一時的に作業を中断します。再開するには、「2.11.3 再開」を参照してください。
[保存せずに戻る]	入力した実施状況報告情報を保存せずに、「課題管理 (学術研究助成基金助成金)」画面に戻ります。

ご注意

- ※ 研究種目が「若手研究」の場合、研究分担者が存在しないため、組織情報は研究代表者のみ表示されます。
- ※ 研究分担者の所属研究機関・部局・職名については、当該年度の3月31日時点の情報を入力してください。
- ※ 研究分担者が6名以上（前年度までに研究を辞退した者は除く）の場合、「選択」欄にチェックボックスが表示されますので、研究実施状況報告書に出力する研究分担者を5名選択してください。
- ※ 補助事業者の合計人数は、辞退した研究分担者の人数を含めて表示されます。
- ※ 2年度目以降の実施状況報告書作成時には、「前年度の実支出額からの戻入額」欄は、「費目別収支状況の入力欄」でチェックボックスが選択されている場合は入力項目になりますので、該当する戻入額を入力してください。チェックボックスが選択されていない場合は、初年度と同様に、「前年度の実支出額からの戻入額」欄はグレーアウトし、「0」を固定表示します。

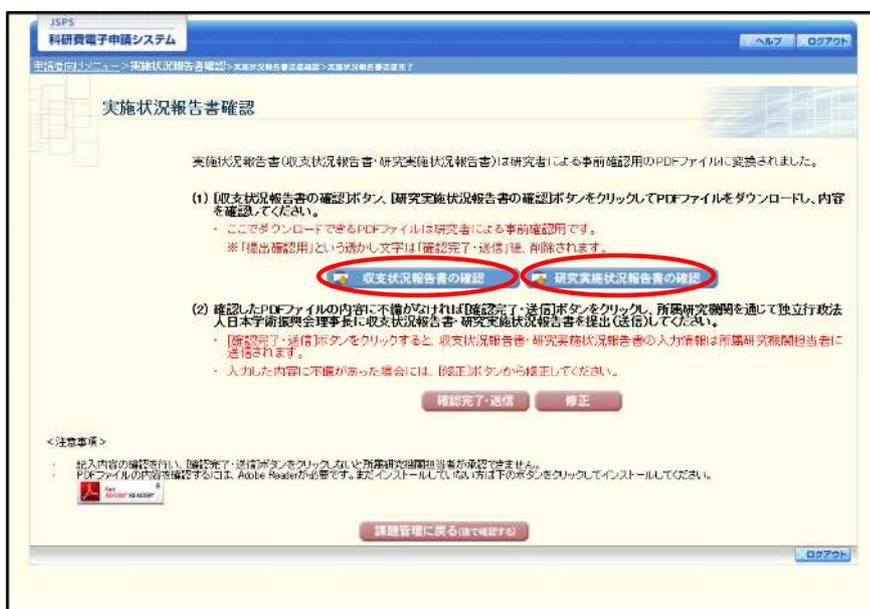
- ⑩ エラーがない場合、実施状況報告書（収支状況報告書・研究実施状況報告書）をPDF ファイルに変換します。



(処理中メッセージが表示されます。)

ご注意

- ※ 変換処理は、処理状況により数分かかる場合があります。
 - ※ 10分以上経過してもシステムから応答がない場合は、[ログアウト] ボタンをクリックし、一旦ログアウトしてください。ログアウト及びウィンドウ(ブラウザ)を閉じていても変換処理は継続されます。
 - ※ しばらく経ってから再度ログインし、「申請者向けメニュー」画面の「状況」欄の「課題状況の確認」をクリックして、「課題管理(学術研究助成基金助成金)」画面より続きの作業を進めることができます。
 - ※ 詳細な手順については、「2.11 処理状況確認・実施状況報告情報作成再開」をご参照ください。
- ⑪ 「実施状況報告書確認」画面が表示されます。[収支状況報告書の確認] 及び [研究実施状況報告書の確認] をクリックして、PDF ファイルに変換された収支状況報告書及び研究実施状況報告書の内容に不備がないか確認します。

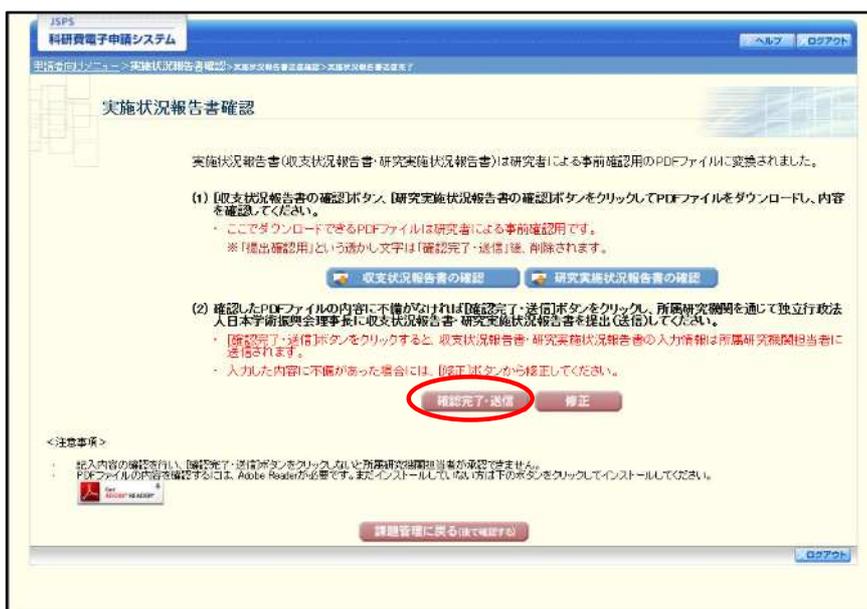


ご注意

- ※ 収支状況報告書・研究実施状況報告書は PDF ファイル形式で保存されています。
 PDF ファイルの内容を確認するには、Adobe Reader が必要です。
- ※ ファイルのダウンロード方法は、「2.1 ファイルのダウンロード手順」を参照してください。
- ※ この段階でダウンロードした『収支状況報告書』『研究実施状況報告書』には、「提出確認用」という透かし文字が入っており、内容の確認をするための書類となります。
- ※ 実際に提出する書類は、「実施状況報告書送信完了」画面よりダウンロードすることが可能です。

その他のボタン	
[確認完了・送信]	実施状況報告書の確認を完了し、送信を行うために、「実施状況報告書送信確認」画面を表示します。
[修正]	実施状況報告情報の修正を行うために、「所属研究機関情報及び代表者情報等の確認」画面を表示します。
[課題管理に戻る (後で確認する)]	実施状況報告書の確認・提出をせずに、「課題管理 (学術研究助成基金助成金)」画面に戻ります (入力された情報は保存されます)。「課題管理 (学術研究助成基金助成金)」画面で、該当年度の「実施状況報告書」欄の [確認] をクリックすることで再度、確認・提出をすることができます。

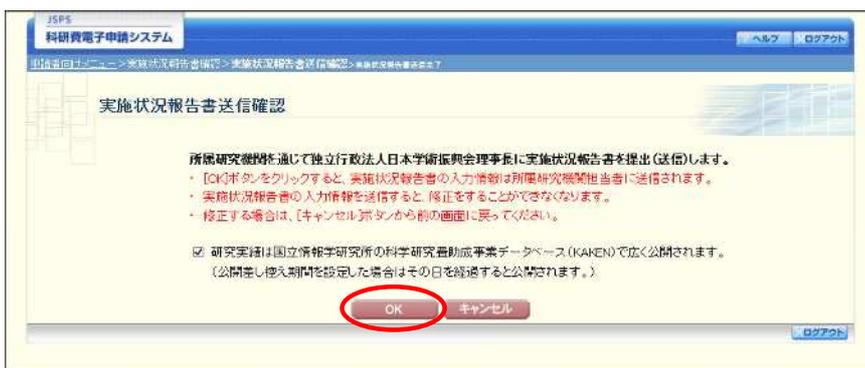
- ⑫ PDF ファイルの内容に不備がなければ「実施状況報告書確認」画面で、[確認完了・送信] をクリックします。



ご注意

- ※ ダウンロードした収支状況報告書・研究実施状況報告書の PDF ファイルの内容に不備があった場合は、[修正] をクリックして「所属研究機関情報及び代表者情報等の確認」画面に戻り、再度実施状況報告情報を入力します。
- ※ [確認完了・送信] をクリックしないと作成された収支状況報告書及び研究実施状況報告書を所属研究機関担当者（または部局担当者）が確認することができませんので、必ず [確認完了・送信] をクリックし提出を行ってください。

⑬ 「実施状況報告書送信確認」画面で、[OK] をクリックします。

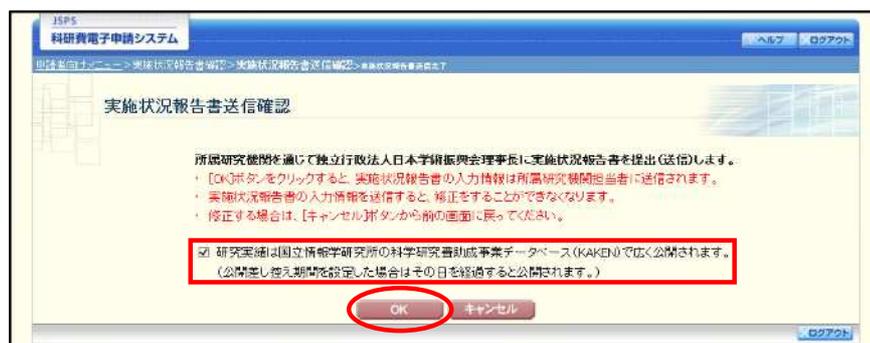


入力項目		
項目名	必須	内容
研究実績の公開確認	○	研究実績が国立情報学研究所の科学研究費助成事業データベース (KAKEN) で公開される旨を確認した場合、チェックをします

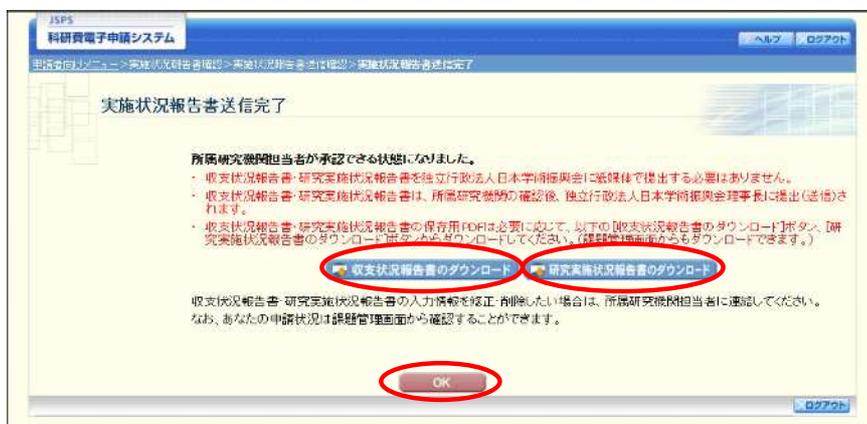
その他のボタン	
[キャンセル]	収支状況報告書・研究実施状況報告書の確認を完了せずに、「実施状況報告書確認」画面を表示します。

ご注意

- ※ 収支状況報告書・研究実施状況報告書の入力情報を送信すると、修正をすることができなくなります。
- ※ 研究実績の公開確認にチェックすることで [OK] をクリックすることが可能となります。



- ⑭ 「実施状況報告書送信完了」画面が表示されます。[収支状況報告書のダウンロード]、[研究実施状況報告書のダウンロード]をクリックし、提出した収支状況報告書と研究実施状況報告書を確認・保存・印刷した後 [OK] をクリックします。



ご注意

- ※ ファイルのダウンロード方法は、「2.1 ファイルのダウンロード手順」を参照してください。
- ※ 収支状況報告書・研究実施状況報告書の入力情報を修正したい場合は、所属研究機関担当者（または部局担当者）に連絡してください。

- ⑮ 「課題管理 (学術研究助成基金助成金)」画面が表示されます。該当年度の「実施状況報告書」欄が「所属研究機関受付中」となっていれば、電子申請システム上の作業は完了です。

課題管理 (学術研究助成基金助成金)

▼変更履歴等 ▼研究組織 ▼交付(予定)額 ▼直接経費使用内訳

基本情報

区分	課題番号	研究種目	応募区分	所属研究機関名	部局名・職名	研究者番号	研究代表者名		課題状況	研究期間
							漢字	フリガナ		
基金	17K12845	2017年度 基礎研究(C)	一般	〇〇大学	教育学部 教授 修正	10100001	交付 太郎	コウフ タロウ	研究中	2017年度～2019年度

研究課題名
 和文 ▼▼の〇〇〇〇〇〇に関する研究
 英文 Study of XXXXXXXXXX

必ず提出する書類

	交付申請書 [D-2-1]	支払請求書 [D-2-1, F-2-1] 変更交付申請書兼支払請求書 [F-2-2]	実施状況報告書 [F-6-1, F-7-1] 収支報告書 [F-6-2, F-7-2]
2017年度	学振受理 (1版) 2017年4月19日学振へ送信 ダウンロード	学振受理 (1版) 2017年4月19日学振へ送信 ダウンロード	所属研究機関受付中 (1版) 収支状況報告書 研究実施状況報告書 提出期間:2018年4月1日～2018年5月31日 公表差し控え期間:2018年7月31日
2018年度		学振受理 (1版) 2018年2月20日学振へ送信 ダウンロード	提出予定
2019年度			提出予定

必要に応じ提出する書類

前倒し支払請求書 [F-9-1] 変更交付申請書兼前倒し支払請求書 [F-9-2]	直接経費使用内訳変更承認申請書 [F-4-1, F-4-2]	補助事業廃止承認申請書 [F-5-1]	研究分担者変更承認申請書 [F-9-1]	研究代表者所属研究機関変更届 [F-10-1]
作成する	作成する	作成する	作成する	
研究中断届 [F-13-1]	産前産後の休暇又は育児休業の取得に伴う補助事業期間延長承認申請書 [F-13-2]	海外における研究滞在等による研究中断承認申請書 [F-13-4]	補助事業期間延長承認申請書 [F-14]	補助事業期間再延長承認申請書 [F-14-CV]
作成する	作成する	作成する	最終年度のみ作成できます。	
その他の様式	-	-	-	-
作成する				

■「必要に応じ提出する書類」について、作成してから日本学術振興会に提出されないまま一定期間が経過すると、自動的に削除されることがあります。

2.10.2 一時保存

実施状況報告情報の入力途中で入力内容を一時保存し、作業を中断することができます。

- ① 実施状況報告情報の入力途中の任意の画面で、[一時保存] をクリックします。

品名 Product Name	仕様 型・性能等 Specifications (Manufacturer/Company Name, Model)	数量 Quantity	単価(円) Unit Prices	金額(円) Amount	合算使用の負 担額(円) Obligation Fees for Aggregated Use	共用設備 Joint-use Facility	設置研究機関名 Name of Installed Research Institution
④▲▲▲▲装置	(特)④▲▲▲ RN-SMR	2		50000	<input checked="" type="checkbox"/> 合算 100000	<input type="checkbox"/> 共有	〇〇大学
④▲▲▲▲装置	西洋中世経済史関係図書	1	500000	500000	<input type="checkbox"/> 合算	<input checked="" type="checkbox"/> 共有	〇〇大学

ご注意

※ エラーがあると保存できないことがあります。その場合は、エラーの発生している項目を修正して保存してください。

- ② 「一時保存完了」画面が表示されます。

その他のボタン

[入力画面に戻る]	[一時保存] をクリックした画面に戻ります。
[メニューに戻る]	「申請者向けメニュー」画面に戻ります。

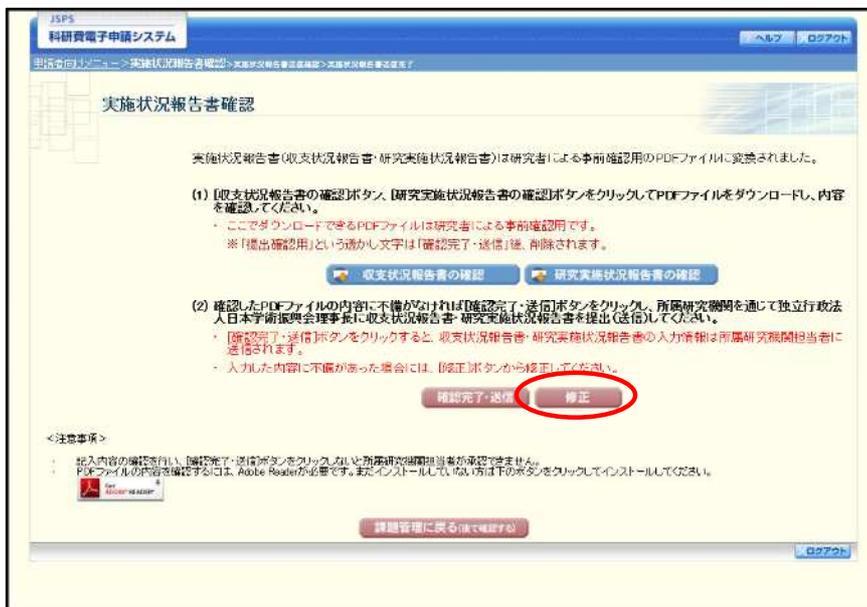
ご注意

※ 一時保存したデータは、「課題管理 (学術研究助成基金助成金)」画面から [再開] を選択して、作業を続けることができます。(「2.11.3 再開」を参照してください。)

2.10.3 修正 (所属研究機関への送信前)

作成した収支状況報告書・研究実施状況報告書を修正するには、以下の手順に従います。

- ① 「実施状況報告書確認」画面で、[修正] をクリックします。



- ② 「所属研究機関情報及び代表者情報等の確認」画面が表示されます。「所属研究機関情報及び代表者情報等の確認」画面以降の操作の詳細は「2.10.1 実施状況報告情報の入力」を参照してください。

所属研究機関情報及び代表者情報等の確認

<注意事項>

- 当該年度の3月31日時点(過去に提出した研究代表者所属研究機関変更届で異動前機関から実施状況報告書を提出するとしている場合を除く)での所属研究機関・部署・職名が表示されているかを確認してください。
- 表示されている研究代表者の部署が職名が当該年度の3月31日時点の情報と異なる場合、正しい情報に修正してください。
- 変更のついた項目は必須の入力項目です。
- 表示されている研究課題名等に誤りがないかを確認してください。
- 誤りがなければ「一時保存をして次へ進む」ボタンをクリックしてください。
- 入力中に一定時間、ボタン操作をせずに、セッションタイムアウトにより、入力した情報が保存されない場合があります。随時「一時保存」ボタンをクリックして情報を保存してください。もし、セッションタイムアウトのエラーメッセージが出た場合は、「電子申請のご案内」ページの「よくあるご質問」を参照下さい。
- 複数ウィンドウ(複数タブ)を開いて利用すると、システムが正常に動作しない場合があります。複数ウィンドウのご利用は控えてください。

科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)実施状況報告書(20XX年度)

所属研究機関の本部の所在地 Address and Name of HQ of Research Institution	〒123-4567 東京都〇〇区〇〇2-5-1
所属研究機関 Research Institution	〇〇大学
部署 Academic Unit	〇〇学部
職名 Position	〇〇〇〇
研究代表者氏名 Name of Principal Investigator	(フリガナ) コウフ タロウ (漢字) 交付 太郎
研究課題名 Research Title	●●による□★□★□の研究
補助事業期間 Project Period	2017年度～2021年度
課題番号 Grant Number	23234567
機関番号 Institution Number	12345

※特許の出願中等の理由により、一定期間公表を見合わせる必要がある場合、「公表差し控え期限を設定する」にチェックを入れて、「公表差し控え期限」「特許等との関連と公表を差し控える必要がある理由」を入力してください。

公表差し控え期限を設定する。 Check this block if you want to defer public access to your report.

公表差し控え期限
Don't release until
2020 年 10 月 10 日 まで
Year/Month/Day

特許等との関連と公表を差し控える必要がある理由
State the reason for wanting to defer the release of your report(copyright,patent,etc.)

一時保存をして次へ進む 保存せずに戻る

注意

- ※ 修正後は、作成された収支状況報告書・研究実施状況報告書の PDF ファイルを確認して「確認完了・送信」をクリックしてください。

2.11. 処理状況確認・実施状況報告情報作成再開

一時保存して中断していた収支状況報告書・研究実施状況報告書の作成を再開、または一旦作成を完了した収支状況報告書・研究実施状況報告書を修正することができます。

2.11.1 処理状況確認

- ① 「申請者向けメニュー」画面で、「状況」欄の「課題状況の確認」をクリックします。



- ② 「課題管理 (学術研究助成基金助成金)」画面が表示されます。該当年度の「実施状況報告書」欄を確認します。注意事項の各種手続きのリンクをクリックすると、処理状況の意味を参照することができます。

課題管理 (学術研究助成基金助成金)

▼ 新規申請等 ▼ 研究内訳 ▼ 交付 (予定) 額 ▼ 直接経費使用内訳

基本情報

区分	課題番号	研究種目	応募区分	所属研究機関名	部署名・職名	研究代表者番号	研究代表者名 漢字 / フリガナ	課題状況	研究期間
基金	17K12015	2017年度 基盤研究 (B)	一般	〇〇大学	教養学部 教授	0100001	空村 三郎	研究中	2017年度～2018年度

研究課題名: 和文: ママの口ロ口ロに関する研究
英文: Study of 2000000000

必須提出する書類

年度	交付申請書 [D-2-1]	支払請求書 [D-3-1, F-2-1] 実費交付申請書 (実費請求書) [F-2-2]	実施状況報告書 [F-3-1, F-3-2] 実施報告書 [F-3-2] 実績報告書 [F-3-2]
2017年度	申請書 (1版) 2017年4月19日学費へ送付	申請書 (1版) 2017年4月19日学費へ送付	中継事業管理 (01版) [即時] [修正] 研究状況報告書 [F-3-1, F-3-2] 実績報告書 [F-3-2] 実績報告書 [F-3-2] 提出期限: 2018年4月1日～2018年5月31日
2018年度		申請書 (1版) 2018年2月20日学費へ送付	提出予定
2019年度		提出予定	提出予定

必須提出し提出する書類

書類名	所属研究機関用内訳承認申請書 [F-4-1]	実費交付申請書の提出申請書 [F-4-2]	補助事業終了承認申請書 [F-5-1]	研究分担者承認申請書 [F-9-1]	研究代表者所属研究機関承認書 [F-10-1]
研究申請書 [F-1-1]	産科産院の体験的言語習得の取組に関する補助事業開始承認申請書 [F-10-2]	海外における研究実務に関する研究申請書の承認申請書 [F-10-3]	補助事業開始承認申請書 [F-11]	補助事業開始承認申請書 [F-11]	補助事業開始承認申請書 [F-11]

■ 必要に応じて提出する書類について、作成してから日本学術振興会に提出されたいま一定期間を経過すると、自動的に削除されることがあります。

変更履歴等

作成日	変更事由	版	年度	学費交付日 (承認日)	書類確認	処理状況	変更内容

研究組織

区分	研究代表者番号	漢字	フリガナ	所属研究機関番号	所属名・職名	備考	研究分担者承認状況
研究代表者	0100001	空村 三郎	ウラタ ミサヲ	00000	〇〇大学 教養学部 教授		
研究分担者	0100002	中継 法郎	ナカヅメ ヒロフミ	00000	〇〇大学 別の研究科 教授		登録済

交付 (予定) 額

年度	変更事由	補助事業年度	合計(円)	直接経費(円)	間接経費(円)
当制	-	2017年度	5,200,000	4,000,000	1,200,000
		2018年度	2,800,000	2,300,000	500,000
		2019年度	2,600,000	2,300,000	300,000
		合計	10,600,000	8,600,000	2,400,000

直接経費使用内訳

年度	変更事由	合計(円)	物品費(円)	旅費(円)	人件費・雑費(円)	その他(円)
当制	-	8,000,000	4,000,000	2,000,000	2,000,000	0

研究分担者承認状況

依頼日	申請種別	研究代表者番号	研究代表者名	所属研究機関番号	所属研究機関名	部署名・職名	承認状況
2016年6月1日	交付申請	0100001	空村 三郎	00000	〇〇大学	△学部 助教	承認済前版
2016年6月1日	交付申請	0100002	中継 法郎	00000	〇〇大学	×学部 非常勤講師	分科承認済完了
2017年2月1日	承認申請	0100002	中継 法郎	00000	〇〇大学	×学部 非常勤講師	分科承認済完了

<注意事項>

- 作製途中の一冊制作した後、最終承認する申請書、関係者承認申請書等に提出した後、(以下)申請書欄に不備があるため交付されない場合、返金処理が完了するまで、申請書を一冊取り戻していただく。
- 2017年度申請書 (F-1-1) 申請書
- 2017年度申請書 (F-1-2) 申請書
- 2017年度申請書 (F-1-3) 申請書
- 2017年度申請書 (F-1-4) 申請書
- 2017年度申請書 (F-1-5) 申請書
- 2017年度申請書 (F-1-6) 申請書
- 2017年度申請書 (F-1-7) 申請書
- 2017年度申請書 (F-1-8) 申請書
- 2017年度申請書 (F-1-9) 申請書
- 2017年度申請書 (F-1-10) 申請書
- 2017年度申請書 (F-1-11) 申請書
- 2017年度申請書 (F-1-12) 申請書
- 2017年度申請書 (F-1-13) 申請書
- 2017年度申請書 (F-1-14) 申請書
- 2017年度申請書 (F-1-15) 申請書
- 2017年度申請書 (F-1-16) 申請書
- 2017年度申請書 (F-1-17) 申請書
- 2017年度申請書 (F-1-18) 申請書
- 2017年度申請書 (F-1-19) 申請書
- 2017年度申請書 (F-1-20) 申請書
- 2017年度申請書 (F-1-21) 申請書
- 2017年度申請書 (F-1-22) 申請書
- 2017年度申請書 (F-1-23) 申請書
- 2017年度申請書 (F-1-24) 申請書
- 2017年度申請書 (F-1-25) 申請書
- 2017年度申請書 (F-1-26) 申請書
- 2017年度申請書 (F-1-27) 申請書
- 2017年度申請書 (F-1-28) 申請書
- 2017年度申請書 (F-1-29) 申請書
- 2017年度申請書 (F-1-30) 申請書
- 2017年度申請書 (F-1-31) 申請書
- 2017年度申請書 (F-1-32) 申請書
- 2017年度申請書 (F-1-33) 申請書
- 2017年度申請書 (F-1-34) 申請書
- 2017年度申請書 (F-1-35) 申請書
- 2017年度申請書 (F-1-36) 申請書
- 2017年度申請書 (F-1-37) 申請書
- 2017年度申請書 (F-1-38) 申請書
- 2017年度申請書 (F-1-39) 申請書
- 2017年度申請書 (F-1-40) 申請書
- 2017年度申請書 (F-1-41) 申請書
- 2017年度申請書 (F-1-42) 申請書
- 2017年度申請書 (F-1-43) 申請書
- 2017年度申請書 (F-1-44) 申請書
- 2017年度申請書 (F-1-45) 申請書
- 2017年度申請書 (F-1-46) 申請書
- 2017年度申請書 (F-1-47) 申請書
- 2017年度申請書 (F-1-48) 申請書
- 2017年度申請書 (F-1-49) 申請書
- 2017年度申請書 (F-1-50) 申請書
- 2017年度申請書 (F-1-51) 申請書
- 2017年度申請書 (F-1-52) 申請書
- 2017年度申請書 (F-1-53) 申請書
- 2017年度申請書 (F-1-54) 申請書
- 2017年度申請書 (F-1-55) 申請書
- 2017年度申請書 (F-1-56) 申請書
- 2017年度申請書 (F-1-57) 申請書
- 2017年度申請書 (F-1-58) 申請書
- 2017年度申請書 (F-1-59) 申請書
- 2017年度申請書 (F-1-60) 申請書
- 2017年度申請書 (F-1-61) 申請書
- 2017年度申請書 (F-1-62) 申請書
- 2017年度申請書 (F-1-63) 申請書
- 2017年度申請書 (F-1-64) 申請書
- 2017年度申請書 (F-1-65) 申請書
- 2017年度申請書 (F-1-66) 申請書
- 2017年度申請書 (F-1-67) 申請書
- 2017年度申請書 (F-1-68) 申請書
- 2017年度申請書 (F-1-69) 申請書
- 2017年度申請書 (F-1-70) 申請書
- 2017年度申請書 (F-1-71) 申請書
- 2017年度申請書 (F-1-72) 申請書
- 2017年度申請書 (F-1-73) 申請書
- 2017年度申請書 (F-1-74) 申請書
- 2017年度申請書 (F-1-75) 申請書
- 2017年度申請書 (F-1-76) 申請書
- 2017年度申請書 (F-1-77) 申請書
- 2017年度申請書 (F-1-78) 申請書
- 2017年度申請書 (F-1-79) 申請書
- 2017年度申請書 (F-1-80) 申請書
- 2017年度申請書 (F-1-81) 申請書
- 2017年度申請書 (F-1-82) 申請書
- 2017年度申請書 (F-1-83) 申請書
- 2017年度申請書 (F-1-84) 申請書
- 2017年度申請書 (F-1-85) 申請書
- 2017年度申請書 (F-1-86) 申請書
- 2017年度申請書 (F-1-87) 申請書
- 2017年度申請書 (F-1-88) 申請書
- 2017年度申請書 (F-1-89) 申請書
- 2017年度申請書 (F-1-90) 申請書
- 2017年度申請書 (F-1-91) 申請書
- 2017年度申請書 (F-1-92) 申請書
- 2017年度申請書 (F-1-93) 申請書
- 2017年度申請書 (F-1-94) 申請書
- 2017年度申請書 (F-1-95) 申請書
- 2017年度申請書 (F-1-96) 申請書
- 2017年度申請書 (F-1-97) 申請書
- 2017年度申請書 (F-1-98) 申請書
- 2017年度申請書 (F-1-99) 申請書
- 2017年度申請書 (F-1-100) 申請書

PDFファイルの閲覧を確認するには、Adobe Readerが必要です。またインストールしていない場合は下のリンクをクリックしてインストールしてください。

メニューに戻る

その他のボタン	
[ダウンロード (収支状況報告書)]	収支状況報告書の PDF ファイルをダウンロードします。 ファイルのダウンロード方法は「2.1 ファイルのダウンロード手順」を参照してください。
[ダウンロード (研究実施状況報告書)]	研究実施状況報告書の PDF ファイルをダウンロードします。 ファイルのダウンロード方法は「2.1 ファイルのダウンロード手順」を参照してください。
[再開]	一時保存した実施状況報告書の作成を再開するために、「所属研究機関情報及び代表者情報等の確認」画面を表示します。
[修正]	一旦作成を完了した実施状況報告書の修正を行うために、「所属研究機関情報及び代表者情報等の確認」画面を表示します。
[確認]	実施状況報告書を確認するために、「実施状況報告書確認」画面を表示します。
[入力]	実施状況報告書を新規に作成するために、「所属研究機関情報及び代表者情報等の確認」画面を表示します。
[メニューに戻る]	「申請者向けメニュー」画面を表示します。

2.11.5 修正 (所属研究機関の却下後)

所属研究機関により却下された実施状況報告情報の修正をするには、以下の手順に従います。

- ① 「課題管理 (学術研究助成基金助成金)」画面で、該当年度の「実施状況報告書」欄の「修正」をクリックします。

The screenshot displays the '課題管理 (学術研究助成基金助成金)' page. The '2017年度' row in the '実施状況報告書' column has a red circle around the '修正' button. The '必要に応じて提出する書類' table below lists various application forms with '作成する' buttons.

区分	課題番号	研究種目	応募区分	所属研究機関名	部署名・職名	研究者番号	研究代表者名 漢字	フリガナ	課題状況	研究期間
基金	17K12945	2017年度 基礎研究(C)	一般	〇〇大学	教育学部 教授 修正	10100001	交付太郎	コウタロウ	研究中	2017年度～2019年度

研究課題名	和文	英文
▽▽の〇〇〇〇〇〇に関する研究		Study of XXXXXXXXXX

年度	交付申請書 [D-2-1]	支払請求書 [D-4-1, F-2-1] 変更交付申請書兼支払請求書 [F-2-2]	実施状況報告書 [F-6-1, F-7-1] 実績報告書 [F-6-2, F-7-2]
2017年度	学術受理 (1版) 2017年4月19日学振へ送信	学術受理 (1版) 2017年4月19日学振へ送信	修正 (1版) 取支状況報告書 研究実施状況報告書 提出期間:2018年4月1日～2018年5月31日
2018年度		学術受理 (1版) 2018年2月20日学振へ送信	提出予定
2019年度		提出予定	提出予定

前編, 支払請求書 [F-9-1] 変更交付申請書兼前編, 支払請求書 [F-9-2]	直接経費使用内訳変更承認申請書 [F-4-1, F-4-2]	補助事業廃止承認申請書 [F-5-1]	研究分担者変更承認申請書 [F-9-1]	研究代表者所属研究機関変更届 [F-10-1]
作成する	作成する	作成する	作成する	
研究中断届 [F-13-1]	産前産後の休暇又は育児休業の取得に伴う補助事業期間延長承認申請書 [F-13-2]	海外における研究滞在等による研究中断承認申請書 [F-13-4]	補助事業期間延長承認申請書 [F-14]	補助事業期間再延長承認申請書 [F-14-CV]
作成する	作成する	作成する	最終年度のみ作成できます。	
その他の様式	-	-	-	-
作成する				

■「必要に応じて提出する書類」について、作成してから日本学術振興会に提出されないまま一定期間が経過すると、自動的に削除されることがあります。

② 「所属研究機関情報及び代表者情報等の確認」画面が表示されます。

所属研究機関情報及び代表者情報等の確認

<注意事項>

- 当該年度の9月31日時点(過去に提出した研究代表者所属研究機関変更届で異動前機関から実施状況報告書を提出するとしている場合を除く)での所属研究機関・部局・職名が表示されているかを確認してください。
- 表示されている研究代表者の部局及び職名が当該年度の9月31日時点の情報と異なる場合、正しい情報に修正してください。
- なむのついた項目は、必須の入力項目です。
- 表示されている研究課題名等に誤りがないかを確認してください。
- 部局がなければ「一時保存」をして次へ進むボタンをクリックしてください。
- 入力中に一定時間、ボタン操作をせねば、セッションタイムアウトにより、入力した情報が保存されない場合があります。随時「一時保存」ボタンをクリックして情報を保存して下さい。もし、セッションタイムアウトのエラーメッセージが出た場合は、「電子申請のご案内」ページの「よくあるご質問」をご参照下さい。
- 複数ウィンドウ(複数タブ)を開いて利用すると、システムが正常に動作しない場合があります。複数ウィンドウでのご利用は控えてください。

科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)実施状況報告書(20XX年度)

所属研究機関の本部の所在地 Address and Name of HQ of Research Institution	〒123-4567 東京都〇〇区〇〇2-5-1
所属研究機関 Research Institution	〇〇大学
部局 Academic Unit	〇〇学部
職名 Position	〇〇〇〇
研究代表者氏名 Name of Principal Investigator	(フリガナ)ヨウフ タロウ (漢字) 交付 太郎
研究課題名 Research Title	●●による□★□★□の研究
補助事業期間 Project Period	2017年度～2021年度
課題番号 Grant Number	23234567
機関番号 Institution Number	12345

※特許の出願中等の理由により、一定期間公表を見合わせる必要がある場合、「公表差し控え期限を設定する」にチェックを入れて、「公表差し控え期限」・「特許等との関連と公表を差し控える必要がある理由」を入力してください。

公表差し控え期限を設定する。 Check this block if you want to delay public access to your report.

公表差し控え期限
Don't release until 2020年10月10日まで
Year/Month/Day

特許等との関連と公表を差し控える必要がある理由
State the reason for wanting to delay the release of your report(copyright/patent/etc.)

一時保存をして次へ進む 保存せずに戻る

ご注意

- ※ 「所属研究機関情報及び代表者情報等の確認」画面以降の操作の詳細は「2.10.1 実施状況報告情報の入力」を参照してください。
- ※ 実施状況報告情報を修正後は、作成された PDF ファイルを確認して「確認完了・送信」をクリックしてください。